

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



稲毛 健太

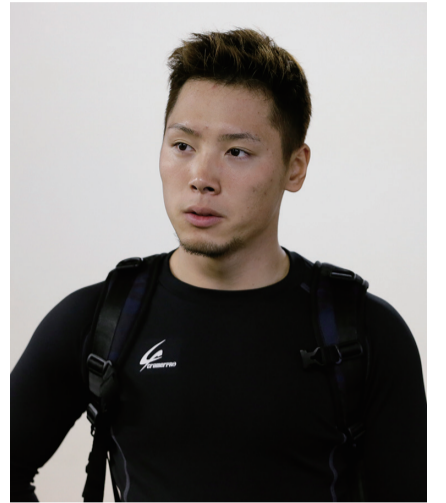
(和歌山/97期)

2年前はインフルエンザで欠場したので、まずはそれにならないように(笑)。このままいけばいい形で迎えられると思う。地元勢は僕も含めて6人が出場する。1人でも多く勝ち上がったなら、チャンスがあると思うので頑張りたい。

南 潤

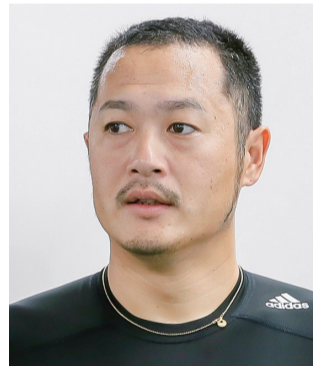
(和歌山/111期)

(広島記念で)久々にシリーズを通して2勝できたし、徐々に良くなってきていると思います。セッティングのことを考えながら走りたくないから、ここまでには脚だけっていう状態にしておきたいですね。やれることをしっかりやって備えます。



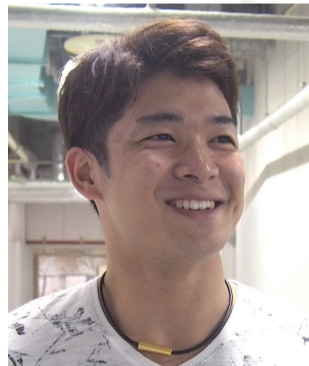
森田 優弥 (埼玉/113期)

ヤンググランプリ 2019 に参戦した若手のポープで、19年はF1戦で3Vを達成している。先行意欲が高く、連がらみの約8割が逃げてのもので、先手を握ると強靱な粘りを発揮する。今シリーズ注目の一車だ。



庄子 信弘 (宮城/84期)

F1戦ながらここ5場所続けて決勝に乗っていて、主武器のまくり、差しが冴え渡っている。12月大宮の準決は稲垣裕、同月前橋の準決では和田健と立て続けに強豪を撃破。Gレースでどこまでやれるか注目したい。



林 慶次郎 (福岡/111期)

F1戦ではほとんどの場所で決勝に乗っていて、10月取手ではS級初Vを逃げ切りで飾っている。今シリーズは3回目のG3参戦。一次予選、二次予選あたりは自慢の先行力を発揮して好勝負を演じるか。

S級ブロックセブン

1/13 (最終日) 6R

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

点数最上位の萩原孝之は伊藤翔貴を目標から鋭脚を伸ばそう。伊藤も前々期のS級でコンスタントに勝ち星を挙げ、前期A級ではV量産した機動型だ。江連和洋の位置取りにも注目。

久米康平はまくり一辺倒の走りだが、親王牌の一次予選では吉田拓一諸橋愛らを撃破。一撃の破壊力はここ随一で、仕掛けのタイミングが適切なら、島田竜二とワンツー決着も。

売り出し中の山田諒が先手を奪取。西岡正一との中近ラインがV争いをリードする。6月のS級特進からVこそまだの山田だが、12月伊東記念でも2連対とほぼ毎場所逃げて連対している。一発勝負だが、ペースを握っての押し切りに期待。前期は乱調だった地元の西岡ながら、4角ハコの展開なら。

山田諒が先制押し切り

山田諒

